

神奈川県知的障害者施設保護者会連合会

神奈川県知的障害者施設保護者会連合会
調査部会 甲山謙一

日頃は神奈川県知的障害者施設保護者会連合会の活動に多大なるご貢献をいただき有難うございます。
深刻なコロナ禍のなか、国の方針として「新型コロナウイルス感染防止と社会経済活動の両立が必要」と言われる中、地方自治体段階では、同調する自治体、政策修正を望む自治体と異趣同舟という状態で、ハッキリしないまま推移しています。

このような中、神奈川県知的障害者施設保護者会連合会としては、各保護者会・家族会がほとんど活動停止とうわさされているなか、正確な情報をスピーディに把握して、WITHコロナでの神奈川県知的障害者施設保護者会連合会の運営や活動はどうあるべきか、具体的には今後の会議日程等どうするのかなどを検討することが大切と認識し、神奈川県知的障害者施設保護者会連合会理事各位にアンケート調査を急遽行うことになったわけでありました。

急いで作成したアンケートでしたので、正確な回答が出来なかったことが推察され申し訳なく思っています。従いまして正確な数値を報告出来ないことを、重ねてお詫び申し上げます。以後のアンケートに活かしたいと思っております。

家族会・施設が感染防止に最大限の留意をしている様子が見て取れましたので、次のように報告いたします。

8月25日のしめきりを8月末に延期して26保護者会中20保護者会から回答をいただきました。有難うございました。

理事の皆様におかれましては、コロナ対策の上に熱中症対策という二重の健康管理をしていただき、お身体ご自愛のほどお願いいたします。

1. 家族会の開催状況

7月までに家族会を開催できた家族会は5つですが、すべて7月でした。

家族会は開催できなかったが、役員会のみで開催は密をさけ、工夫して開催した家族会が5～6ありました。(不正確で申し訳ありません)

総会は全て書面による総会でした。

2. 今後の予定

家族会：年内は中止が多く、9月に役員会を開催して今後の開催について協議する家族会がいくつかありました。全体会を開催するにしても、三密を避け、人数制限や回数を増やして一堂に会する会員数を減らすなどの工夫をしている。

園の行事は、全てが、利用者と職員のみで開催。家族の参加はなし、10月の園祭等については、実施するも、家族の参加については検討中である施設が殆どである。

3. 面会・帰宅

面会については3月以降禁止しているが、5月移行、面会場所、面会時間（5～30分）、全員の検温、消毒、マスク着用など、条件付きで許可している施設が増えてきている。

面会をオンラインや電話等で代替している施設もあるが、家族が機器を所有してないと全員が利用できるわけではない課題がある。また家族の方で施設への感染を防ぐために、面会を遠慮している施設もあった。

帰宅は半年以上出来なかったが、6月以降、条件付きでの帰宅を許可して施設が幾つかある。帰宅時の毎日の検温、不要不急の外出を避ける等。中には家族も帰宅前の1週間の検温を義務付ける等、感染防止に努めている。事前に帰宅のマニュアルを受取、帰宅の申込をする施設もある。

面会・帰宅は10月まで実施しないが、7月に一度30分間の面会を行った施設もあった。

保護者との散髪・歯科検診等は認められている。

4. その他の意見（原文のまま）

★施設内で感染が発生したら、集団クラスターになってしまうので感染防止に細心の注意をなければなりません、そのためには家族も不自由や不便を我慢して施設に協力をすることが大切だと思います。新型コロナウイルスとの闘いは長期戦が予想されますので新しい生活様式への適応と感染リスクを避けた利用者とのコンタクトをどのようにするのがよいか知恵を出して工夫していかねばならないと思います。

★見通しの付かない現状で、毎日の行動等に制限があり、入所者、職員は辛く大変な毎日を送っている。いつ誰が感染しても仕方がない現状です。入所者、そして職員が安心して生活、仕事ができるような検査体制、入院体制等、バックアップする制度、体制を早急に作っていただきたいと切に願います。

★個人が判断して参加する必要があるが、30名弱の神奈川施保連理事会は実施するべきでしょう。コロナはうまく付き合っていくしか方法がありません。

★現状では、県施保連の学習会・講演会が開催できないのはやむを得ないと思っています。早くコロナが終息することを願います。

★本件とは無関係ですが、理事会への提案として以下の提案をしたい。（理事会が開催中止となっている現状からして）

1. 親なき後～過去に取り上げているテーマですが、より一層具体的に
2. 後見人制度の今後のあり方～①家族会会費の徴収問題
②身上監護のあり方

★ホーム職員の皆さん 検温2回/日 施設内の除菌作業で苦勞されているようです。感謝です

★WEBの利用を検討したいが、家族がみな、利用できる環境ではないので、利用が難しい状況にある。今後、コロナ収束まで長丁場の見込みをふまえ、利用者と家族との面接ないし家族間の意見交換に何らかの形でWEBを活用できる方法を検討していきたいので、先行されている家族の会のお知恵を是非参考にしたい。

★家族の会でやったこと（⑤は9月までに実施）①総会は書面で行い返信ハガキは76通回答（全員賛成）②今年前半の会費の引き落としは中止③法人へ30万円寄付した。④役員全員留任⑤新たに家族の会掲示板と投書箱を2カ所に設置 神奈川施保連への希望：県や国に要望を至急整理して早急に活動を再開して欲しい。アフターコロナの時に「神奈川施保連は何をした？」と問われます。

★家族会、行事とも施設に広い集会室や体育館等の有無など、ハード面等の状況によって開催の可否が決まると思う。
・蜜を避けるため、また家族が園に来る交通手段も影響する。高齢者が電車、バスを乗り継いでこなければならぬ状況では無理はできない

★職員の方のご苦勞に感謝するのみです。

★家族会費は保護者が施設に来られないため、回収できずという状態です。
保護者は家庭によっては困窮しているとのことで、会費は4月～9月の半期分は50%減額にしました。他の家族会では家族会費はどうしているのでしょうか。

★施設として、施設内感染を恐れている。横浜市で家庭内感染が増えている現状がある。

以上